

This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

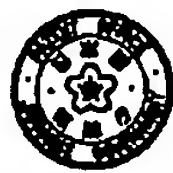
Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

**As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problem Mailbox.**

(19)



JAPANESE PATENT OFFICE

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: 2002112930 A

(43) Date of publication of application: 16.04.02

(51) Int. Cl.

A47L 9/02

A47L 9/04

(21) Application number: 2000348806

(71) Applicant: SATO MISAKO

(22) Date of filing: 12.10.00

(72) Inventor: SATO MISAKO

(54) METHOD AND DEVICE FOR SORTED SUCTION
CLEANING IN VACUUM CLEANER

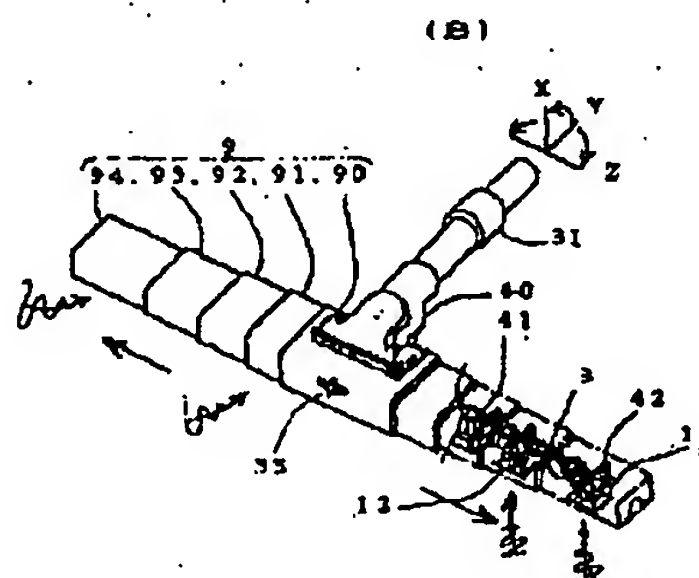
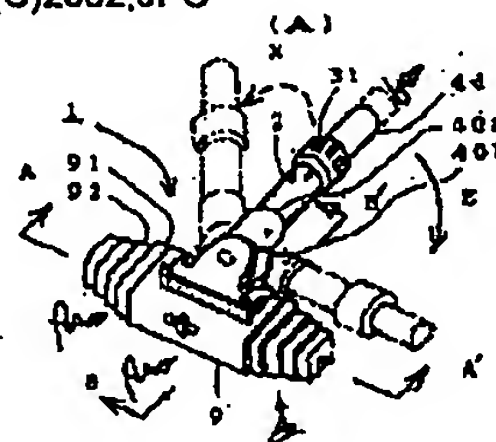
constituted at the opening 10, and also, a flexible
cleaning auxiliary utensil which is fitted on the nozzle
is formed.

(57) Abstract

COPYRIGHT: (C)2002,JPO

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a method wherein a suction surface is divided into a plurality, and cleaning is performed depending on the size of a place or a cleaning objective, and a vacuum cleaner, its major components, and an auxiliary part, or the like, are made to perform the method.

SOLUTION: The terminal opening 10 of a suction nozzle 1 for floor is divided into a plurality, and respectively suction channels are openably/closably formed. Then, an irregular nozzle 5a, or the like, a rotating roller 5c, or the like, are internally fitted in an opening terminal fixed style nozzle for floor, and the pulling out operation when required is made possible. Also, on an opening terminal movable style nozzle for floor, an opening terminal which contains divided cases is held through a linking machine frame 41. In this case, the linking machine frame 41 is formed by bonding X-shape cross bars 67 with a pin, and arranging a plurality of the X-shape cross bars 67. For the divided cases, a nozzle case 9 is divided into a plurality. Thus, for the movable style, the stretching operation from a suction pipe 2 is made possible. Such a movable style and the fixed style are selectively



(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2002-112930

(P2002-112930A)

(43) 公開日 平成14年4月16日 (2002.4.16)

(51) Int.Cl.	識別記号	F I	キーワード (参考)	
A 4 7 L	9/02	A 4 7 L	9/02	A 3 B 0 6 1
	9/04		9/04	D
				A

審査請求 有 請求項の数 4 書面 (全 14 頁)

(21) 出願番号 特願2000-349306 (P2000-349306)

(22) 出願日 平成12年10月12日 (2000.10.12)

(71) 出願人 500254745

佐藤 美佐子

東京都町田市金森222-8-301

(72) 発明者 佐藤 美佐子

東京都町田市金森222-8-301

(74) 代理人 100070264

弁護士 久高 聡

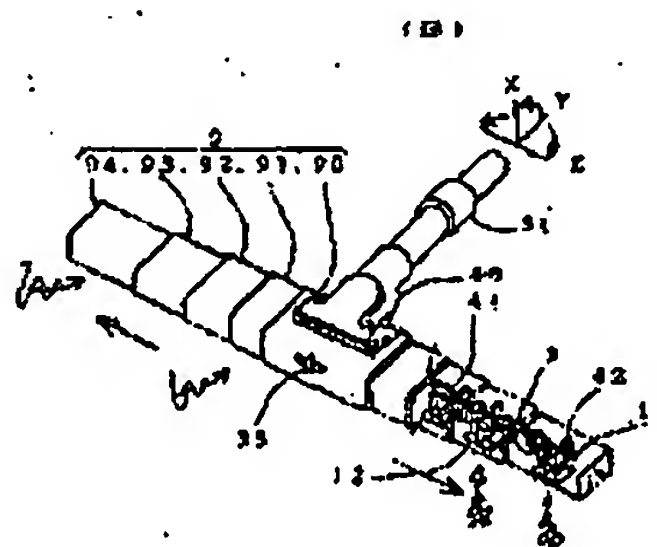
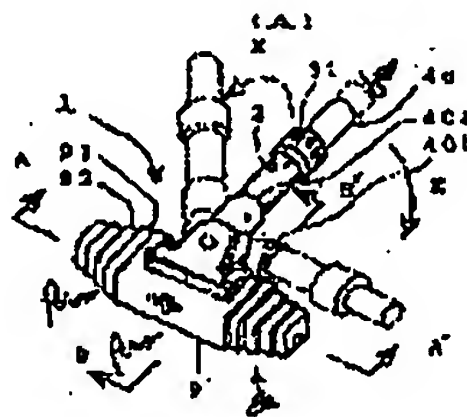
Fターム (参考) 3B061 AA18 AA42 AA44 AD05

(54) 【発明の名称】 電気掃除機における吸込区分化機構の方法と装置

(57) 【要約】

【課題】 吸込面を複数区分し、場所の広狭や清掃対象物に清掃する方法とその方法を実施する電気掃除機とその主要部品、補助具等の装置を提供する。

【解決手段】 床用吸込ノズル1の末端開口部10を複数に区分し、各吸込流路を開閉可能に形成した上で、開口部末端固定形床用ノズルには、異形ノズル5a等、回転ローラー5c等を内部装着して適時の引き出し操作可能に、又、開口部末端移動形床用ノズルには、X状交差バー67をピン接合し複数配列して形成したリンク機構41を介してノズルケース9を複数分割した分割ケースと内設する開口部末端を保持し、吸込パイプ2から行なう延伸操作可能にする移動形と、前記固定形とを選択的に開口部10に構成し、かつ装着用可撓性清掃補助具を形成した。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 吸込面を区分して塵埃等を吸引する電気掃除機における吸込区分化清掃の方法であって、床用の吸込ノズル(1)の開口部(10)を複数の区画(1a、1b、...)に区分した上で、該区画毎に又はグループ化した該区画群毎に、吸込パイプ(2)に連通する吸込区分ゾーン(21、22、...)を形成し、かつ該吸込区分ゾーン毎の吸込流路を選択的に開閉可能に構成した上で、前記区画を離隔又は近接させて被清掃面(a-a')を拡大縮小操作させ、該操作に順応するように、吸込ノズル(1)のケーシング(9)を相互に直列に組み立てて形成する複数ブロック(90、91、...)に分割、配設して、区画(1a、1b、...)開口面を同種吸込機能の開閉操作を可能にし、あるいは吸込ノズル(1)内に装着して被清掃面を擦過又は吸引可能にする一以上の清掃補助具(5)を複数の吸込区分ゾーン(21、22、...)の固定位置に組み込み装着して異種吸込機能の選択操作を可能とする、二つの機能操作を選択的に前記吸込区分ゾーンの端部に構成することを特徴とする電気掃除機における吸込区分化清掃の方法。

【請求項2】 吸引源を備えた本体と、本体に連結ホースを介して配管し電気的制御を可能とするスイッチ部を備えた手許パイプと、手許パイプに吸込パイプを介して着脱可能に配管する床用の吸込ノズルを配設し、被清掃面の塵埃等を区分して吸引する吸込区分化清掃装置であって、吸込ノズル(1)の開口部(10)を選択的に仕切り化又は分岐、個別化して、複数の区分した区画開口部(11、12、...)と、該区画開口部各々を個別に又はグループ化した吸込流路の開閉弁(6a、6b)又は開閉機構(30)を形成した上で、仕切り化した区画開口部(11、12、...)には、清掃補助具(5)を着脱可能に装着し、あるいは分岐、個別化した区画開口部(11、12、...)には、形状が変形可能な連通管(3)を介して吸込パイプ(2)に配管し、各々が相互に近接又は離隔可能とする隣接する該区画開口部を、複数分割ブロック化した吸込ノズルのケーシング(9)に順応して変形操作可能な操作機構(4)とともに構成し、適宜に該吸込パイプと前記吸込ノズルとが接続する取付傾斜角を変化させて清掃操作ができるように構成することを特徴とする電気掃除機における吸込区分化清掃装置。

【請求項3】 床用の吸込ノズルの開口部が当面する被清掃面を複数の区画に区分して、塵埃等を吸引する複数の個別化した吸込区分ゾーンを形成する区分化した電気掃除機における吸込ノズルであって、吸込流路を開閉可能にした吸込区分ゾーン(21、22、...)の一以上の開口部端部に接続可能な、外表面に被覆材又はメッシュ開口材を付設する回転ローラー(5a)及び/又は隙間ノズル(6a)と刷毛ノズル(6b)を含む主要部がほぼ筒状の異形ノズル(6)から成る清掃補助具(5)を形成

し、該清掃補助具の少なくとも一つを選択的に前記吸込区分ゾーン端部に操作可能に予め装着して、一般床面や特殊部位の被清掃面を選択操作できるように構成することを特徴とする電気掃除機における吸込ノズル。

【請求項4】 床用の吸込ノズル(1)に装着する回転ローラー(5a)と、隙間ノズル(6a)、刷毛ノズル(6b)その他を含む筒状の異形ノズル(6)とから成る清掃補助具(5)が、紙質材、布繊維質材、合成樹脂材、合成ゴム材、ピアノ線やパネ鋼を含む弾性鋼材等を選択的に用いて復元性を有する単材又は複合材を形成した上で、シート状に成形した可撓性構造物(70)、あるいはこれに加えて螺旋状又は網状の骨組み(71)と該骨組みに一体的に組み合わせた骨組み間膜(72)又は表皮材(73)とを定形に成形した可撓性構造物(70)を形成し、該可撓性構造物に、小孔付きの開口形状物を含む所定の清掃補助付帯物に加工して構成することを特徴とする電気掃除機における吸込区分化清掃補助具。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、電気掃除機の清掃方法とその装置に係わり、特に被清掃面に当接する吸込口空間を区分して吸い込むように構造内部を形成することにより、被清掃面の広狭や構造に対応して吸込口構造を変える掃除機技術に関するものである。

【0002】

【従来の技術】近年、家庭用を含む電気掃除機(以下、掃除機という)は、一旦吸い込んだ含塵風量のクリーン化再使用による排塵量低減、運転騒音の低減、紙パック不要の集塵処理、吸込仕事率(=吸塵力)の向上、コードレス化等が改良された。図16に示すように、一般に掃除機は吸塵源を備え、交換用の集塵紙パックを着脱できる本体8、該本体に接続する可撓性の連結ホース4a、該ホースに接続した手許パイプ兼用のスイッチ部4b、それに接続する標準用途用又は延長用や特殊目的用を含む各種名称の吸込パイプ4c、4dを、前記連結ホースや取付パイプ端部に接続し、被清掃面に当接又は当面させる(以下、当面という)、ノズルやヘッドと呼称する床用の吸込ノズル7や交換用吸込口5等の各種吸込口(以下、吸込ノズルという)を組み立てて構成する。床用吸込ノズルは、ノズル外形を形成するケーシングの内側が一つの空間域を形成する一口吸込形ヘッドであって、該空間域が空洞状のもの、回転ローラーや被清掃面を叩く小衝撃発生具を内蔵するもの等、外形はほぼ円形をしている。最近では吸込パイプの差し替え補助部品の一部、標準用途用と延長用のパイプ部品は、手操作で延伸する長短兼用として一体化されている。なお以下、図示の床用吸込ノズルを標準吸込ノズルといい、wはノズル帽を示す。

【0003】掃除機の清掃補助具は、吸込パイプに取り

付ける幅 $w=13\text{ cm}$ から 33 cm 大の標準吸込ノズルに、樹脂成形した特殊形状をした直径 3 cm 以内の隙間ゴミ吸い取り用、サッシ清掃用等、交換用標準部品として商品化され、それらを吸込パイプに差し替えて使用している。従って、吸込ノズルの清掃補助具は、標準吸込ノズルの形状で、フローリング、畳、絨毯、布団等用の専用交換ローラーを付着するものや、前記した刷毛用、隙間用等の筒状をした異形ノズルを加えると多数の差し替え部品が存在する。現状はこれらの手操作交換が行われ、一般床用の標準吸込ノズル以外は、適切な収納場所に別途保存することになる。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】ところで一つの部屋には、家具が置かれ敷物が敷かれ、部屋が変わればその面積も変わる。フローリング床から家具回り、絨毯面と被清掃面が変化すれば、従来の掃除機では各組目的別の清掃補助具を手操作交換することになる。すなわち交換のためのアイドル時間が多い。一回の被清掃面に対する作業者の運動は、標準吸込ノズルの幅で定まり、従来商品では最大 33 cm である。 66 cm 幅の床では2回の清掃運動になる。そこで 66 cm 幅の標準吸込ノズルを用いて1回の清掃運動で済まそうとすれば狭小な場所の被清掃面を清掃出来ない。狭小場所用の交換ノズルに差し替えれば、結果的にアイドル時間を増やす。同様に従来の標準吸込ノズルの吸い込み域は、一つのゾーニングに限定られ、ノズル幅 w 全面に平均吸込力が生ずるように予め形状が設計され、吸込力を平均化させる構造又は吸込流路開閉手段は不要であった。その一定形状のノズル内部に各種の刷毛やブラシを有する回転ローラーや、汚れ面を叩く小衝撃発生具を装着して清掃を行う場合、それらを装着したノズル内部では、吸込圧調整手段がなく、それらを装着中にノズル全面に適切な平均圧を保持するとは限らない。ローラーや異形ノズル等の清掃補助具は、潰れない樹脂主体の製品であって、収納の際にかさばるものである。

【0005】本発明は、上記問題点を鑑み開発したもので、被清掃面に当面する標準吸込ノズルを複数区画に分け、それらと吸込パイプ間に複数のゾーニングを形成し、各ゾーニングの開閉を行うことによって、清掃操作時に標準吸込ノズルの多機能性を生み、利便性を高め、作業のアイドル時間を少なくして、作業効率を高めることのできる、電気掃除機の吸込区分化清掃の方法を提供し、この吸込区分化清掃法を採用した区分化清掃装置やその用途向け吸込ノズル、清掃補助具等に係る、構造付加により増加し易い操作重量を低減する開閉機構を提供して作業者の負担を軽減することを目的とするものである。

【0006】

【課題を解決するための手段】本発明に係る電気掃除機における吸込区分化清掃の方法は、吸込面を区分して塵

埃等を吸引する吸込区分化清掃の方法であって、床用の吸込ノズルの開口部を複数の区画に区分した上で、区画毎に又はグループ化した区画群毎に、吸込パイプに連通する吸込区分ゾーンを形成し、かつ吸込区分ゾーン各々の吸込流路を選択的に開閉可能に構成した上で、区画を離隔又は近接させて被清掃面を拡大縮小操作させ、操作に順応するように、吸込ノズルのケーシングを相互が重畳に組み立てて形成する複数ブロックに分割、配設して、区画開口面を同種吸込機能の開閉操作を可能にし、あるいは吸込ノズル内に装着して被清掃面を掠過又は吸引可能にする一以上の清掃補助具を複数の吸込区分ゾーンの固定位置に組み込み装着して異種吸込機能の選択操作を可能とする。二つの機能操作を選択的に吸込区分ゾーンの端部に構成するものである。

【0007】そして本発明に係る電気掃除機における吸込区分化清掃装置は、吸引源を備えた本体と、本体に連結ホースを介して配管し電気的動作を可能とするスイッチ部を備えた手許パイプと、手許パイプに吸込パイプを介して着脱可能に配管する床用の吸込ノズルを配設し、被清掃面の塵埃等を区分して吸引する吸込区分化清掃装置であって、吸込ノズルの開口部を選択的に仕切り化又は分岐、個別化して、複数の区分した区画開口部と、区画開口部各々を個別に又はグループ化した吸込流路の開閉弁又は開閉機構を形成した上で、仕切り化した区画開口部には、清掃補助具を着脱可能に装着し、あるいは分岐、個別化した区画開口部には、形状が変形可能な連通管を介して吸込パイプに配管し、各々が相互に近接又は離隔可能とする隣接する区画開口部を、複数分割ブロック化した吸込ノズルのケーシングに順応して変形操作可能な操作機構とともに構成し、直直に吸込パイプと吸込ノズルとが接続する取付傾斜角を変化させて清掃操作ができるように構成したものである。

【0008】さらに本発明に係る電気掃除機における吸込ノズルは、床用の吸込ノズルの開口部が当面する被清掃面を複数の区画して塵埃等を吸引する複数の個別化した吸込区分ゾーンを形成する区分化した電気掃除機における吸込ノズルであって、吸込流路を開閉可能にした吸込区分ゾーンの一以上の開口部端部に接続可能な、外表面に被覆材又はメッシュ開口材を付設する回転ローラー及び/又は隙間ノズルと刷毛ノズルを含む主要部がほぼ筒状の異形ノズルから成る清掃補助具を形成し、清掃補助具の少なくとも一つを選択的に吸込区分ゾーン端部に操作可能に予め装着して一般床面や特殊部位の被清掃面を選択操作できるように構成するものである。

【0009】そして本発明に係る電気掃除機における吸込区分化清掃補助具は、床用の吸込ノズルに装着する回転ローラーと、隙間ノズル、刷毛ノズルその他を含む筒状の異形ノズルとから成る清掃補助具が、紙質材、布織機質材、合成樹脂材、合成ゴム材、弾性鋼材等を選択的に用いて復元性を有する単材又は複合材を形成した上

で、シート状に成形した可撓性構造物、あるいはこれに加えて螺旋状又は網状の骨組みと該骨組みに一体的に組み合わせた骨組み間膜又は表皮材とを定形に成形した可撓性構造物を形成し、可撓性構造物に小孔付きの開口形状物を含む所定の清掃補助付帯物に加工して構成するものである。

【0010】

【作用】電気掃除機の標準吸込ノズルの開口部を複数区画に分け、各区画に連通する吸込流路を開閉可能にして選択的に吸引可能にする吸込区分化清掃の方法は、被清掃面に当面する開口部端末を独立した複数の区画に分けるので、被清掃面の広狭の変化に対応してノズル大きさを変えても、複数区画を再配置すればノズル内部の吸込圧力を平均化できる。同様に複数区画の各々に異種の特殊目的に対応する特定清掃機能を与えることが出来る。さらにそれぞれの区画に連通する吸込区分ゾーンの吸込流路を選択的に開閉操作可能にしたので、選択した清掃機能に係る流路を「開」操作することによって、その機能を有効に作用させ得る。同様に開口部端末を複数の独立区画にしてケーシングを分割ケースブロックによって形成したので、隣合う区画間隙を長短変化させる場合に、その操作に対応して、ノズル幅変化とケーシング変化を協定させて標準吸込ノズルの幅を変化適応させる。一作業当たりの被清掃面と面積を適切化できる。吸込区分化清掃の方法を採用して構成する区分化清掃装置は、標準吸込ノズル内部に設ける仕切りによって固定化した複数区画を形成するので、その特定の区画に回転ローラーや、操作位置に出没自在可能に形成した特殊ノズルを装着することによって、予め多機能の清掃補助具を付帯した標準吸込ノズルを形成できる。そのノズル付設の吸込パイプを介して本体を動作させ、吸込パイプとの接続傾斜角を適切に選んで一つの吸込流路を開ければ、区分化清掃装置はそれに係る清掃機能を発揮できる。また標準吸込ノズルを、その内部に分岐、個別化した区画開口部と外部の複数ブロック化したケーシングによってノズル幅の変形操作ができるので、一回の清掃作業によって被清掃面の広狭に対応した調整ができる。さらに清掃補助具は、復元性を有する材を形成し復元性を有する可撓性構造物に成形して、所定の製品に加工して成るので、標準吸込ノズルに装着する異形ノズルにおいては、不使用時にノズル内側空洞部に折り畳んで収納できる。折り畳み可能清掃補助具を内部収納することにより吸込流路が開、形状を復元する操作時に開状態になることによって、それを用いる系の流路に開閉機構は不要となる。可撓性構造物の復元性は、装着する回転ローラーに、外方への弾性状態を現わし、掃引時に被清掃面に対して適度な押圧力を作用する。

【0011】

【発明の実施の形態】以下に、本発明に係る電気掃除機における吸込区分化清掃の方法と装置を図によって説明

する。図1は、本発明方法を説明するもので、(A)は吸込機構の複数区画処理を示すブロック図、(B)は複数区画の操作変化を示すブロック図。図2は、本発明方法による他の操作処理方法を示すブロック図。図4は、同じくその他の操作方法を説明するブロック図。図5は、本発明による区分化清掃装置の、吸込ノズルの開口部を仕切化した実施例を示す部分斜視図。図6は、本発明による区分化清掃装置の、吸込ノズルの開口部を仕切化した実施例を説明するもので、(A)は吸込ノズルの側断面図、(B)は(A)のA-A'矢視図、(C)は(A)のB-B'矢視図。図7は、同じく区分化清掃装置の、吸込ノズルの開口部を分岐、個別化した実施例を説明するもので、(A)は吸込ノズル縮小時を示す部分斜視図、(B)は吸込ノズル拡大時の、一部透視図を含む部分斜視図。図10は、同じく区分化清掃装置の、吸込ノズルの開口部を分岐、個別化した実施例に清掃補助具を装着した操作状態を説明するもので、部分透視図を含む部分斜視図。図12は、同じく区分化清掃装置の、吸込ノズルの開口部を分岐、個別化した実施例の吸込流路の開閉機構を説明するもので、(A)は操作時の開閉状態を示す側断面を含む側断面図、(B)は開閉操作の状態変化を示す部分側断面図。図14は、同じく吸込ノズルに装着する清掃補助具を説明するもので、(A)は外側螺旋状骨組み付き開口材付設の回転ローラーを示す側断面を含む部分側断面図、(B)は内側骨組み付き開口材付設の回転ローラーを示す側断面を含む部分側断面図。

(C)は外側螺旋状骨組み付設の隙間ノズルを示す側断面を含む部分側断面図、及び図15は、同じく吸込ノズルに装着する清掃補助具の使用材を説明するもので、

(A)は骨組み表皮材一体形使用材を示す部分斜視図、

(B)は担架成形使用材を示す部分斜視図、(C)は繊維骨組み浸在成形使用材を示す部分斜視図である。

【0012】本発明方法の構成について、図1、図2及び図4を用いて説明する。図1(A)に示すように、本発明方法は、標準吸込ノズル1の吸込部20aにおいて、被清掃面a-a'に当面する部位を複数区画1a、1b、…に区分し、その各区画を連通部3によって吸込パイプ2に連通するそれぞれが独立した吸込区分ゾーン21、22、23を形成した吸込機構20に、図4に示すように、複数区画1a、1b、…に通じる連通管3に開閉機構又は開閉用の弁機構を配設し、選択した吸込流路を開閉可能に構成した上で、選択した複数区画1a、1b、…の各々に回転ローラー50や異形ノズル51等の特定の清掃補助具5を取付け、また図1(B)に示すように、吸込パイプ2に設けた操作機構4によって独立した吸込部20aに設けた前記区画の各々を離隔又は近接させ、区画1a、1b、…又は区画1a'、1b'…のように吸込部の関与面積を縮小又は拡大させて、当面する被清掃面を該区画毎に区分して清掃するものである。なお、操作機構4は図2に示すように、吸込機構20の

外部に設けてもよい。図1に示す4bは、該吸込機構の吸込操作を動作させるスイッチ部を備え、吸込空気を吸引する手許パイプであり、図2に示す3bは、グループ化して吸引操作を行う連通管を示す。

【0013】本発明の区分化清掃装置及び標準吸込ノズルの構成について、図5ないし図7及び図10と図12を用いて説明する。なお以下に、隙間ノズル5aと刷毛ノズル5bを一括めにして呼ぶ場合は異形ノズル5a、5bといい、擦過ローラー5cと小孔付きローラー5dとを合わせて同様に回転ローラー5c、5dという。本発明の区分化清掃装置は、後述する標準吸込ノズル1と、取付傾斜が可能、あるいは加えてノズル機能进行操作する操作管31付設の吸込パイプ2以下、本体までの手段から成り、図6に示すように、標準吸込ノズル1の内側を仕切化した仕切床96と仕切壁97によって複数に区分した区画開口部を形成し、同図(B)に示すように、仕切化で形成する吸込流路に開閉弁6a、6b及び同図(C)に示すシャッター9cを形成した上で、さらに図5に示すように、異形ノズル5a、5bや回転ローラー5c、5dを仕切床96の開口端又は連通孔98に装着し、L又はR方向に基ノズルを、あるいはf又はr方向に外枠9a、9bを露出可能に構成してそれぞれ操作し、あるいは図7(B)に示すように、標準吸込ノズル1の内側に分岐、個別化した区画開口部11、12、…を変形可能な連通管3を介して吸込パイプ2に配管し、図12に示す分岐、個別化した前記区画開口部に対する開閉機構30を形成する。その上で、図7に示すように、吸込ノズル1のケーシング9を組立可能に分割して複数ブロック90ないし94のように一連の該区画開口部を包んで重畳に形成し、隣接する前記区画開口部の各々が操作管31を介して相互に近接又は離隔する操作に順応させる。同図(B)に示すように、一連の該複数ブロックは、リンク機構41とそれに従動する吊り枠42から成る後述する操作機構に連係して、吸込ノズル幅の延伸方向に変形可能に構成し、加えて吸込パイプ2又は連通吸込パイプ4dと標準吸込ノズル1とが接続する取付傾斜角を、三元X、Y、Z方向に変化させる組関節40ないし40a、40bを組み込んで構成するものである。なお33は、後述する図12に示す開閉機構30の一部を成すラック付き開閉ハンドルであり、区画開口部11、12、…は、前記した吸込区分ゾーン21、22、…の開口端末である。

【0014】本発明による電気掃除機における吸込ノズル1は、標準吸込ノズル1に配設する前記した吸込区分ゾーン21、22、…の開口端末に、該開口端末を仕切化によって複数の該吸込区分ゾーンを設ける場合には、図6(C)に示す開閉弁6a、6b及びシャッター9cを設けて該開口端末を開閉可能にして、図14に示すように、主要部がほぼ筒状の隙間ノズル5aと刷毛ノズル5bや、外表面に擦過材を付設して絨毯等を擦る擦過口

ローラー5c又はメッシュ開口材を付設して布団やカーテン類等のシート類上を清掃する小孔付きローラー5dを、図5に示すように、選定方向に引き出して操作が可能であるように構成している。また前記吸込区分ゾーンの開口端末を分岐、個別化して設ける場合には、図12に示す開閉機構30を設けて吸込流路を開閉可能にし、図10に示すように、複数の前記開口端末の少なくとも一の区画開口部11に前記異形ノズルのいずれかを引き出し操作可能に、予め装着して一般床面や特殊部位の被清掃面を選択操作できるように構成している。

【0015】そして本発明の清掃補助具5は、図14と図15に示すように、紙質材、布端粘着材、合成樹脂材、合成ゴム材、ピアノ線やバネ鋼を含む弾性鋼材を単材あるいは複合材にして、該材をシート状にあるいは厚薄選んで成形し、又は高低密度を異ならせて成形し、あるいは網状又は螺旋状の骨組み71と、該骨組みに骨組み間膜72を形成して添設し、あるいは該骨組み間膜の外表面に表皮材73を加えて一体的に定形に成形し、前記骨組み間膜と前記表皮材に選択的に所要の開口部10を加工した上で、製品構成物全体が弾性を有する可換性構造物に構成する。

【0016】

【実施例】次に、本発明の実施例を図3及び図6ないし図15により説明する。図3は、本発明方法による複数区分した吸込区分の変形操作実施例を説明するもので、(A)は複数区分の多室独立処理を示す部分平面図、(B)は複数区分の一室仕切処理を示す部分平面図。図8は、同じく区分化清掃装置の、吸込ノズルの開口部を分岐、個別化した実施例を説明するもので、(A)は吸込ノズルの側断面図、(B)は(A)の部分側断面を含むA-A'矢視図。図9は、同じく区分化清掃装置の、図8(A)の部分側断面を含むB-B'矢視図。図11は、同じく区分化清掃装置の、吸込ノズルの開口部を仕切化した実施例の吸込流路の開閉機構を説明するもので、(A)はa側清掃補助具操作時の開状態を示す部分側断面を含む側面図、(B)はb側清掃補助具操作時の開状態を示す部分側断面を含む側面図。及び図13は、同じく区分化清掃装置の、吸込ノズルの開口部を分岐、個別化した実施例の吸込ノズル変形用の操作機構を説明するもので、(A)は機構部部の操作状態を示す部分側断面を含む部分斜視図、(B)は操作状態を示す機構部部の部分側断面を示す側面図である。本発明方法の実施例として、図3(A)に示すように、標準吸込ノズル1の幅を拡張、短縮可能に構成し、吸込パイプ2に配管する圧縮、延伸可能なアコーディオン形状の設定区分数の連通管3に複数区画1a、1b、1cを各々取り付けて、該吸込ノズル拡大時に該連通管を延伸して複数区画1a'、1b'、1c'のように位置移動を行い、ノズル縮小時には全ての連通管3を圧縮させる。同図(B)に示すようにしてもよい。すなわち被清掃面に

当面させノズル前後をカバーする一本の幅広い、長手方向に圧縮、延伸可能なアコーディオン形状のフレキシブル管を設け、該フレキシブル管に順次取付位置をずらせた所定位置に前記複数区画を配設し、該区画下面を開口させる。前記区画上部に接続するそれぞれの連通管3を吸引可能に併行配管する。この構成によって、標準吸込ノズルの拡大、縮小時に該複数区画の相対位置が一定する。

【0017】本発明装置の実施例を説明する。図6に示すように、仕切化して前記複数区画を配設する吸込ノズル1は、ケーシング9内部に仕切床96と仕切壁97を設けて、それらが形成する開口端部に回転ローラー5c、5dを配設し、該仕切床下部に装着する異形ノズル5a、5bを配設し、操作時に該異形ノズルが該仕切床の一部切り欠いた連通孔98を介して吸込流路を形成するようになっている。同図(A)に示すように、該ケーシング下端外側にはノズルのほぼ中央を支点にして回転可能な前外枠9aと後外枠9bを付設しかつそれらが破線で示す上方に移動して、図5に示すf、rの各方向に回転した後に、枠固定子95によって各該外枠は位置固定が可能になっている。なお外枠9a、9bの回転中心には車輪61が付設され、外枠の一方を上方に固定すると、同側の前記回転ローラーが接地して操作可能になる。該車輪は、仕切床96下に固設する逆Y字形の受枠37下側に同図(C)に示す車輪受け62を設けて圧縮バネを介して配設し、該車輪受けに穿設する下固定溝6e、上固定溝6fに車輪61aを挿設することにより前記車輪の上下位置が調整可能になっている。外枠9a、9bは、横糸ないし帯状の開閉操作伝動具6c、6dを介して各々弁受枠64に保持される開閉弁6a、6bと接続し、該各外枠の上方移動操作に伴い開状態に、下方移動時に閉状態になる。

【0018】異形ノズル5a、5bは、受枠37の垂直な軸板と左右の横板状の保持枠63の間に装着し、同図(B)に示す矢印方向へ異形ノズル引き出し具65によって引き出し操作可能になっている。該異形ノズルは、その一端に吸込み開口端部刷毛付設溝を有する中央が筒体の形状をもち、その他端に前記ノズルとはほぼ同長の筐体を接続部60を介して直列に配管している。該筐体はその上部に接続孔99一箇所を開口して前記開口端部、付設溝に連通する。同図(C)に示すように、筐体の該接続孔は、前記異形ノズルがケーシング9の取出窓を矢印のように開きノズルの外部に引き出して操作状態に固定したとき、仕切床96に開口する連通孔98に当面して、吸込流路に連通するように形成している。異形ノズル5a、5bの装着時には、当該の連通孔98はノズル側接続孔99と当面せず、付設するシャッター9cによって遮断されている。なお、該シャッターは操作設定途中で異形ノズル5に押し退けられて開状態になる。前記異形ノズルが内部吸込流路と連通し、あるいは開閉弁6

a、6bの開状態に連通管3が導通する。さらに同図(A)に示すように、 $h=0$ 及び $w1+w2=0$ の場合には標準吸込ノズルの側断面大きさは最小になる。

【0019】分岐、個別化させた複数区画配設形の標準吸込ノズル1の実施例を説明する。図8に示すように、ケースブロック90ないし94に分割してケーシング9を形成し、ノズル幅端部に一方の端部ケースブロック80、94を配設し、該ケースブロックに車輪61を付設して吸込ノズル1全体を保持する。端部ケースブロックは、端部側側面部を開鎖し、下側と中央側の側面部を開口している。ケースブロック90は、ノズル中央に配設して組関節40を介して吸込パイプ2と連通し、同図(B)に示すように、その主要部の側断面をほぼC形状に形成するもので、端部ケースブロックとの間にケースブロック91ないし93を相互に重畳状に組み立てて併設している。各ケースブロックは噛合う相互が滑り易く仕上げられ、ノズル幅方向に摺動、延伸可能になっている。さらに標準吸込ノズル1の最下端操作時にケースブロック91から順次左右の端部ケースブロック94に亘って幅方向長さを順次長く形成し、ケースブロック94が最長になっている。ケーシング9の内側には、吸込パイプ2に連通可能に組関節40に組み込んだ可撓管35、該可撓管端部に蓋設、配管する接合管36、該接合管にT字状に接続してノズル前方に向けて横方向配管する連通主管47が順次配設され、該連通主管に適宜に複数開口する側壁面に吸込流路を形成する開口を設け、それら開口毎に同数のアコーディオン形状の延伸、短縮可能な連通管3aないし3cを配管し、ノズル幅方向に延びる構引き状に配設し、その上で該連通管の管端を端部開口部7aないし7cを配設している。7dは、前記接合管の下部に弁管体36aを介して配設する端部開口部である。前記連通管は、図9に示すように、一方の前記端部ケースブロックの上部側壁面に構築するリンク機構41に垂設した内吊り枠42に個別に保持して、同様に、該リンク機構に外吊り枠43を垂設してそれら前記ケースブロックの各々を保持している。さらに前記ケースブロックの延伸操作に従動して位置替えを行う端部開口部7aないし7cと、中央部固定の端部開口部7dは、それぞれの開口部下面を広げて吸込面を拡大し、それらを該側壁面に当面させている。なお80と8aは、それぞれケースブロック94と端部開口部7aと左右一対を成す構造物であり、幅方向長さとは、図16に示すw方向長さ、ノズル前方とは吸込パイプ2取付面をノズル後方とするその反対側をいう。

【0020】リンク機構41は、図13に示すように、主要部分を機構中央に中央ピン69によりピン接点を設けて回転自在に交差させ、X字状に組み合わせたバー67二枚を、直列に多数組み合わせ、隣合う該バーの両端を外側ピン68で連続に接続して形成したもので、その上でバー両端部に位置する該外側ピンを、図9に示すよ

うに、端部ケースブロックに形成する円弧状の端部ガイド49上に固設される案内ガイド48に沿わせて係合させ、リンク機構操作に応じて前記外側ピンが案内ガイドの中央から両端方向へ摺動可能になっている。リンク機構41は、ノズル幅方向の中間部においてほぼ二分して、二分した部位前後は両端各一對の前記外側ピンを係止する一對の締付棒45を介して接合され、前記リンク機構を一体的に構成する。一對の締付棒には、その中央に逆向きの螺設孔を設けて、中央板4jを付設の逆ネジを両側に螺設する歯車付き締付軸44を該締付棒両孔に挿通して、該締付軸が回転する場合に前記一對の締付棒が接近、又は離隔する操作が可能となるように配設している。なお該歯車付き締付軸の歯車は、後述する歯車機構46の駆動力を受けるリンク機構の外側の軸端に固設し、該歯車を付設しない軸端部は、ケースブロック90の前面側壁に固設する軸受4iに挿通する。また締付棒45は、該螺設孔の左右位置に一對のバネ付き丁番4mを配置して締め付け操作時に生じる変位を吸収する。そして該歯車機構は、図8(B)に示すように、吸込パイプ2と組戻部40間に配設する後述する操作管31に組み込んだ歯付き伝動ベルト4fと噛合するもので、該伝動ベルトが該組戻部に設けたガイド34に沿って下方動作するときに従動して順次噛合する数組の歯車から成る。また図9に示す1a、1bは、連通管3a、3bの管端に配管する匡体で、その下部に連通開口部7a、7bを配設して吸込操作可能のものであり、同じく38は、連通主管47と弁管体36a、それぞれに内設する後述する開閉機構を開閉操作する弁開閉ハンドルである。

【0021】図12に示すように、開閉機構30は、連通主管47と弁管体36aに配設する開口列番号のない④の開口部を、該連通主管と該弁管体にそれぞれ挿設する弁回転軸75、76が、大小二歯車から成る歯車機構46aを介して回転することによって、同図(B)に示す環状シャッター6hを開閉操作可能に構成している。ケースブロック90に設けるラック付き弁開閉ハンドル33の横方向動作によって、付設ラックが該歯車機構の駆動側歯車を回転させ、その結果、従動側歯車を介して該弁回転軸付設部の各歯車を回転させる。

【0022】歯車付き締付軸44を駆動する歯車機構46についてその実施例を説明する。図13(B)に示すように、操作管の動作に係連して従動する歯付き伝動ベルト4fは、その下部をベルト巻取り器66に結合し、そこに内蔵する常時引き付けバネ66aによって緩みなく張設している。該歯付き伝動ベルトは歯直4qに噛合し、該歯直は大歯直4nに同軸の小歯直4pに噛合し、該大歯直が該歯車付き締付軸の歯直に噛合している。歯付き伝動ベルト4fは、吸込パイプ2外側に重層に組み立てられ、ケーシング上部に配設の替部パイプ40aの内側に挿設した操作管31に、その上部を係止してい

る。32は、該歯付き伝動ベルトの周囲空間を埋めてベルト操作時の姿勢を安定的に保つシールである。なお、前記ベルト巻取り器の駆動力を、乾電池と電動機から得る電気動力に置き換えても良い。そして特に明示しない構造物の材質は、従来技術に採用されたものを用いる。

【0023】本発明の清掃補助具5は、紙質材、布繊維質材、合成樹脂材、合成ゴム材、ピアノ線やバネ鋼を含む弾性鋼材等を選択的に用いて復元性を有する単材又は複合材を形成した上で、シート状に成形した可撓性構造物70、あるいは図14に示すように、網状体の骨組み71又は螺旋状体の骨組み71aによって骨格を形成し、該骨組み間に適宜に開口部10を付設する骨組み間膜72を設けて一体的に形成している。同図(A)に示すのは、小孔付きローラー5dであって、筒状体に成形した前記骨組みを外側に設け、その内側に別途製作した該骨組み間膜を貼布し、該筒状体端部を軸受けキャップ74によって閉鎖した復元性を有する可撓性構造物70である。同図(B)に示すのは従通ローラー5cであって、内側に骨組み71を外側に骨組み間膜72を設けて、該間膜の最も外側に従通表皮材を貼布した可撓性構造物70に成形した筒状体であり、その両端部開口端に軸受けキャップ74を設ける。同図(C)に示す異形ノズルは、軟質樹脂材や紙質材等を用いて予め概略大さの筒状体を作り、その外側に螺旋を巻き、その後、熱間成形して骨組み間膜72付き骨組み71aから成る螺旋状体に成形し、最後に開口部10を切断加工して復元性のある可撓性構造物70に形成した隙間ノズル5aである。従っていずれの前記可撓性構造物も、任意箇所を曲げ、折り、畳んでも初期形状に復元するものである。

【0024】前記可撓性構造物を構成する前記骨組みは、網状体骨組みのものは合成ゴム製や紙・布製で作った網状成形網、厚紙、ボール紙、嵩高成形繊維、不織布成形品、軟質合成樹脂、アルミ・銅板の薄板等の型抜き成形品等、該螺旋状体骨組みでは、ピアノ線、樹脂含浸鋼線、鋼線、鋼索等を用いて成形して良い。同じくその構成材になる前記骨組み間膜は、紙、布、樹脂性又はゴム性シート材、ピアノ線やバネ鋼等の鋼板、アルミ板の薄板等が用いられ、特に素材の性質としては、伸張性少なく、耐水性、電気絶縁性等を示すものが良い。しかし、使い捨て製品として成形するものは、成形保持性が使用期間中に損なわなければ吸湿性、通気性があってよい。そのほか図15に示すように、骨組み71と骨組み間膜72を一体的に形成し、その形成品を素材に、回転ローラー5fや異形ノズル51を成形してよい。同図(A)に示すものは該骨組みと該骨組み間膜を板厚の厚薄によって、同図(B)に示すものは同じく筒状体、顆粒材を原料に用いて同一板厚中に生じさせた遠近生成操作により、さらに同図(C)に示すものは、同じく繊維質材を原料に同一板厚中に生じさせた繊維質束の配層

操作によって、少なくともそれぞれの一面がほぼ平滑になるように形成したものである。前記操作によって作る清掃補助具5は、塵プラスチック、焼紙、各種スラッシュ、可溶性混合塵材、塵金属・非金属性粉材、同顆粒材等のリサイクル化資材の適用製品に好適であり、これら資材の複合材を用いる清掃補助具は、使い捨て用の補助具として好適である。なおここに記載しないが、骨組み付きの本発明の可換性構造物を本体ケーシングを含む形成物に適宜に表皮凹凸面を被覆、付加する転用を行うことによって、従前構造物の同厚の電気絶縁被覆と比較し、その操作意匠を割ないし三割、軽減できる。

【0025】次に、本発明装置に係る操作の手順を、図5ないし図15によって詳述する。仕切化して区画開口部11、12、…を配設する標準吸込ノズル1は、図11に示すように、a側の前外枠9aを上方に回動して枠固定子95を固定すると、小孔付きローラー5dが露出しかつその露出状態は安定したものになる。また車輪61と共にノズル全体の荷重を負担するので、該小孔付きローラーが回転動作、すなわち清掃操作が行えるようになる。同時に、該前外枠の上方回動以前は、閉状態にあった前記小孔付きローラーの吸込流路は、開閉操作伝動具6cが弁受枠64から開閉弁6aが露れて閉状態になり、掃除機の電源をONすると小孔付きローラー5dから連通管3に通じる吸込力が生じる。このときb側に配設する換過ローラ5cや仕切床96下に装着する、ここに図示しない異形ノズル5a、5bは待機位置にあり、それら器具に通じる吸込流路は全て閉状態になっている。ここに、車輪61下側に引く三点鎖線は回転ローラー5c、5d全てが待機状態にある場合の後清掃面を、同じく下側に引く実線はa側清掃補助具の操作可能状態の清掃面を示す。同様に、同図(B)に示すのは、b側の後外枠9bを上方に回動して枠固定子95によって固定して換過ローラー5cを清掃操作可能状態にあることを、a側の前外枠9aにおいては待機状態にあることを示す。

【0026】分岐、個別化させた複数区画配設形の標準吸込ノズル1の操作は、図9と図12に示すように、まずその吸込流路の開閉操作をラック付き弁開閉ハンドル33ないし弁開閉ハンドル38を用いて行う。図12(B)に示すように、左右二本一対を成す複数の連通管3を連通主管47の側壁面に開口して配管し、その開口部分に形成する環状シャッター6hは、弁回転軸75から放射状に延びる保持ロッドにはほぼ向かい合って開設する二枚一対の円弧状弁によって開閉操作を行う。該環状シャッターは、連通主管47に配管する複数対の該連通管にそれぞれ一組ずつ配設して、該連通主管を介して開閉操作するためには、弁開閉ハンドル38を付設し、該弁回転軸に直結する該弁開閉ハンドルを回動操作して、図示の(1)に示す開口列番号①の閉状態と(2)に示す同番号①の閉状態を繰り返し操作すればよい。

【0027】図8に示すように、連通主管47に連通する端末開口部7aないし7cに加えて該連通主管に連通しない端末開口部7dを配設する標準形吸込ノズルにおいては、異系の吸込区分ゾーンの間を開閉操作のための連絡機構設ける。すなわち図12(A)に示すように、弁開閉6から成る開閉操作機構を形成し、微移動操作を行うラック付き弁開閉ハンドル33を用いて開閉操作のために弁回転軸75、76を回転させる。同図(B)に示すように、連通主管47の開口列番号①②③と弁管体36aの開口列番号④で示す弁全てを全開状態にするには、(1)状態に示す形状の一対の環状シャッター6e、6hを組み合わせる。ここに白抜き及び黒塗り逆三角印は、それぞれのシャッターの基準点を示し、初期の上位位置から基準点が移動すれば、その位置の逆三角印は移動先の基準点を示す。端末開口部7d以外を閉状態にするには、前記(1)状態が(2)状態になるようにハンドル操作して両弁回転軸を各々回動させる。ここに、開口列番号①②③の閉閉操作を(1)状態と(2)状態と同じに設定した上で、同じ連通主管内の一つ、開口列番号④のみを開状態にし、その他全てを閉状態にしたい場合には、図示の(3)状態に示す開口列番号④の環状シャッター6hに示す位置設定を行う。一方、このときの開口列番号④に対応する開口列番号①②の該環状シャッターの位置設定は(2)状態になるように予め異ならせればよい。

【0028】分岐、個別化させた複数区画配設形の標準吸込ノズル1の拡大、短縮操作は、図13に示すように、該吸込ノズルから離れて吸込パイプ2上方に操作管31を位置決めして、ノズル最短縮時の初期設定状態にロックしてある、そこで該操作管の初期状態をロック解除して、前記吸込ノズルに近付ける押し下げ操作を行う。すると前記操作管内部に係止する歯付き伝動ベルト4fが、吸込ノズル1内部の歯直機構46を駆動させて、結果的に歯車付き締付軸44を回転させる。該歯直付締付軸は、その軸両端に初期設定されている一対の締付軸45を近接させ、その近接動作は該締付軸左右端にピン接合するバー67と、外側ピン68、中央ピン69によって形成する一連のリンク機構を伸張する。該リンク機構に取り付けて、各区分1a、1b、…に係合する内吊り枠42と、各ケースブロックと係合する外吊り枠43は、前記リンク機構の伸張度合いに応じて、係合する該区分と該ケースブロックをそれぞれ順次ノズル中央から離脱させてノズルが幅方向に拡大するように再配置していく。ノズル短縮時にリンク機構41を形成する一対の外側ピン68は、初期には充分に離れていたが、拡大操作終了時には、最も近付いた位置を示す。そのとき歯付き伝動ベルト4fは、ベルト巻取り器66に大部分が巻取られる。一方、ノズル短縮操作では、上記操作の逆操作、すなわち操作管31の引き上げを行えばよい。なお該ベルト巻取り器を電気動力に置き換えて駆動

する場合には、操作管31に電源スイッチ設け、歯付き伝動ベルト41はエンドレス構造に代えて全てノズル内に収納して、該スイッチのON-OFF操作のみで全操作が行える。

【0029】

【発明の効果】本発明の電気掃除機における吸込区分化清掃の方法と装置は、吸込流路を複数区分に分けてゾーニング化することによって被清掃面に当面する標準吸込ノズルの開口部における吸込操作を自由に調節し、かつ選択できる操作手段を提供するものである。即ち本発明方法を具体化する区分化清掃装置は、仕切りによって区分化した開口部に予め清掃補助具を装着するので、作業中に所要の装着清掃補助具の一つを選択して直ちに使用できる。標準吸込ノズルが分岐、個別化して区分化した端末開口部付きを有する区分化清掃装置は、操作機構によって、吸込ノズル幅を容易に伸張変形操作できるので、被清掃面の形状に即応して形状調整して、最も効率的な清掃作業域を確保できる。さらに本発明による復元性、可塑性を有する清掃補助具は装着に好適な融通性を有し、形状容積、重量とも軽減すると共に、その使用素材に廃プラや廃紙等のリサイクル品を用いる場合に、廃材再使用先製品としての社会性を有する。これら被清掃面に対する適用性の良さが、作業者のアイドル時間と、作業従事時間を極めて大きく短縮することになり、本発明技術は、家庭用、業務用を問わず、所謂、清掃ロボットに容易に応用して利便性、重量軽減、軽減に伴うエネルギー消費の節減や経済効果を上げることができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の電気掃除機における吸込区分化清掃の方法を説明するもので、(A)は吸込機構の複数区画処理を示すブロック図、(B)は複数区画の操作変化を示すブロック図である。

【図2】本発明方法による他の操作処理方法を示すブロック図である。

【図3】本発明方法による複数区画した吸込区分の変形操作例を説明するもので、(A)は複数区画の多室独立処理を示す部分平面図、(B)は複数区画の一室仕切処理を示す部分平面図である。

【図4】本発明方法のその他の操作方法を説明するブロック図である。

【図5】本発明による区分化清掃装置の、吸込ノズルの開口部を仕切化した実施例を示す部分斜視図である。

【図6】本発明による区分化清掃装置の、吸込ノズルの開口部を仕切化した実施例を説明するもので、(A)は吸込ノズルの側断面図、(B)は(A)のA-A'矢視図、(C)は(A)のB-B'矢視図である。

【図7】本発明による区分化清掃装置の、吸込ノズルの開口部を分岐、個別化した実施例を説明するもので、(A)は吸込ノズル縮小時を示す部分斜視図、(B)は吸込ノズル拡大時の、一部透視面を含む部分斜視図であ

る。

【図8】本発明による区分化清掃装置の、吸込ノズルの開口部を分岐、個別化した実施例を説明するもので、(A)は吸込ノズルの側断面図、(B)は(A)の部分側断面を含むA-A'矢視図である。

【図9】本発明による区分化清掃装置の、図8(A)の部分側断面を含むB-B'矢視図である。

【図10】本発明による区分化清掃装置の、吸込ノズルの開口部を分岐、個別化した実施例に清掃補助具を装着した操作状態を説明するもので、部分透視面を含む部分斜視図である。

【図11】本発明による区分化清掃装置の、吸込ノズルの開口部を仕切化した実施例の吸込流路の開閉機構を説明するもので、(A)はa側清掃補助具操作時の開状態を示す部分側断面を含む側面図、(B)はb側清掃補助具操作時の開状態を示す部分側断面を含む側面図である。

【図12】本発明による区分化清掃装置の、吸込ノズルの開口部を分岐、個別化した実施例の吸込流路の開閉機構を説明するもので、(A)は操作時の開閉状態を示す側断面を含む側面図、(B)は開閉操作の状態変化を示す部分横断面図である。

【図13】本発明による区分化清掃装置の、吸込ノズルの開口部を分岐、個別化した実施例の吸込ノズル変形用の操作機構を説明するもので、(A)は機構部部の操作状態を示す部分側断面を含む部分斜視図、(B)は操作状態を示す機構部部の部分側断面を示す側面図である。

【図14】本発明による吸込ノズルに装着する清掃補助具を説明するもので、(A)は外側鋼状骨組み付き開口材付設の回転ローラーを示す側断面を含む部分側面図、(B)は内側骨組み付き開口材付設の回転ローラーを示す側断面を含む部分側面図、(C)は外側螺旋状骨組み付設の隙間ノズルを示す側断面を含む部分側面図である。

【図15】本発明による吸込ノズルに装着する清掃補助具の使用材を説明するもので、(A)は骨組み表皮材一体形使用材を示す部分斜視図、(B)は粗密成形使用材を示す部分斜視図、(C)は繊維骨組み混在成形使用材を示す部分斜視図である。

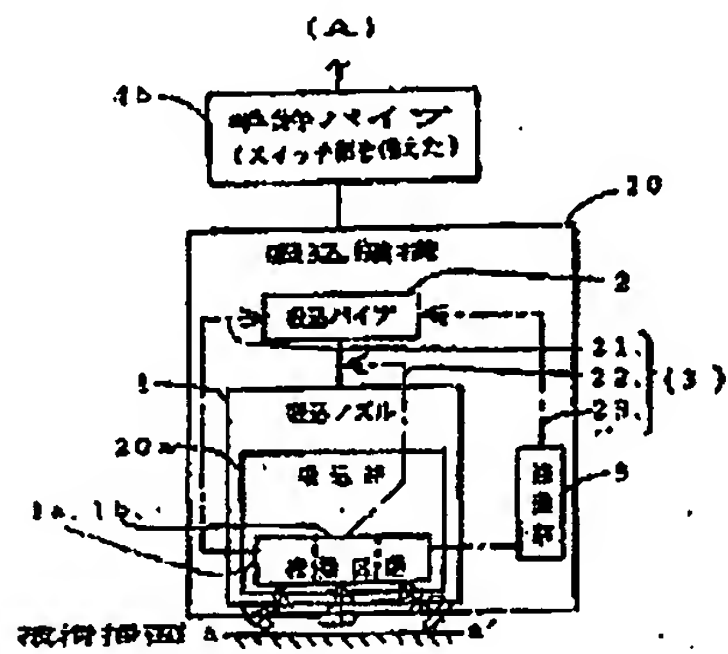
【図16】従来形掃除機を示す斜視図である。

【符号の説明】

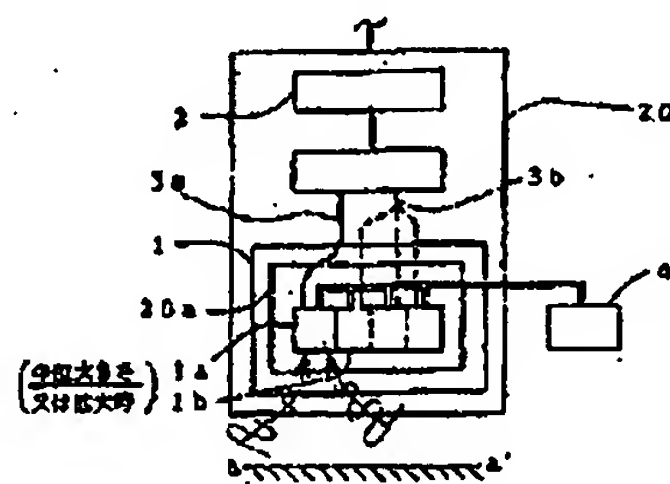
1	吸込ノズル
1a, 1b, 1c, ..	複数区画、開口接続部
2	吸込パイプ
3, 3-a, 3-b, 3-c	連通管
4	操作機構
4a	連結ホース
4b	手許パイプ (スイッチ部を備えた)
4c, 4d	連結吸込パイプ

17	18
4 e, 4 n, 4 p,	外吊り枠
4 q, 4 r, 4 s	歯車付き繰付軸
4 f	繰付枠
4 h	歯車機構
4 i	組歯車
4 j	連通主管
4 m	案内バー
5	端部ガイド
5 a	回転ローラー
5 b	翼形ノズル
5 c	接合部
5 d	直輪
6	直軸
6 a, 6 b	直輪受け
6 c, 6 d	保持枠
6 e	弁受け
6 f	翼形ノズル引出具
6 g, 6 h	ベルト巻取り器
7	常時引き付けバネ
7 a, 7 b, 7 c	バー
7 d, 8 a	外側ビン
8	中央ビン
9	可撓性構造物
9 a	骨組み（螺旋状又は網
9 b	螺旋形骨組み
9 c	骨組み間隙
10	表皮材
11, 12, ...	軸受けキャップ
20	弁回転軸
20 a	ケースブロック
21, 22, ...	ケースブロック
30	保持枠
31	枠固定子
32	仕切床
33	仕切壁
フル	連通孔
34	接続孔
35	絞清綿面
36	方位
36 a	前外枠引き上げ方向
37	後外枠引き上げ方向
38	隙間ノズル引き出し方向
40, 40 b	刷毛ノズル引き出し方向
40 a	開口列番号
41	吸込パイプ操作方向
42	

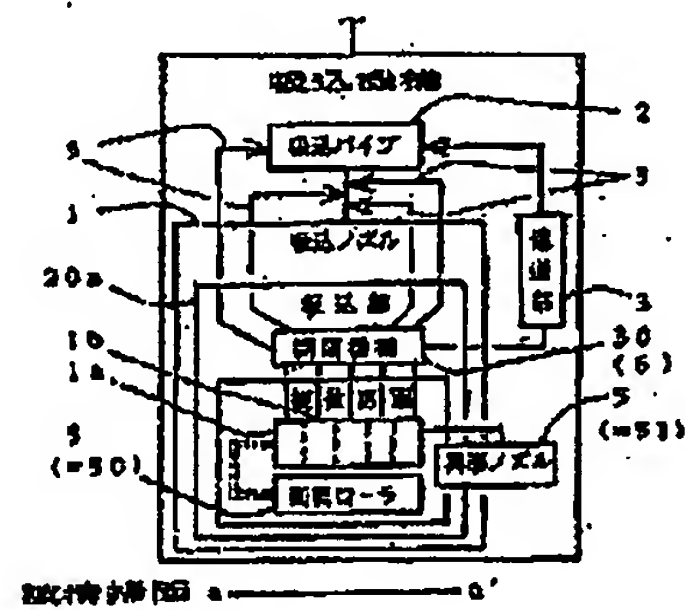
【図1】



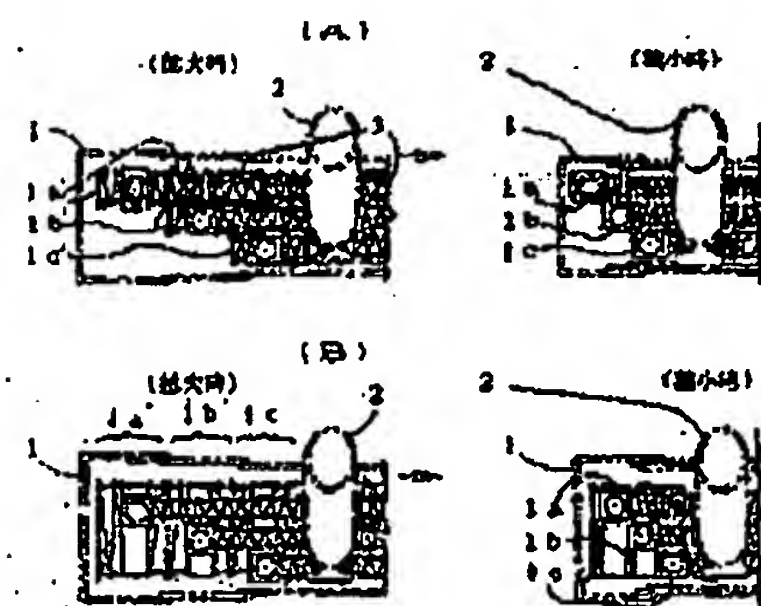
【図2】



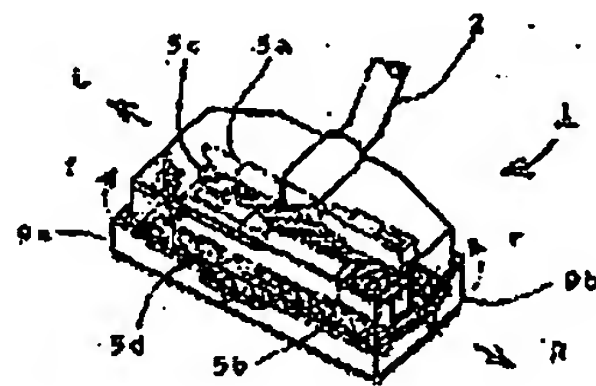
【図4】



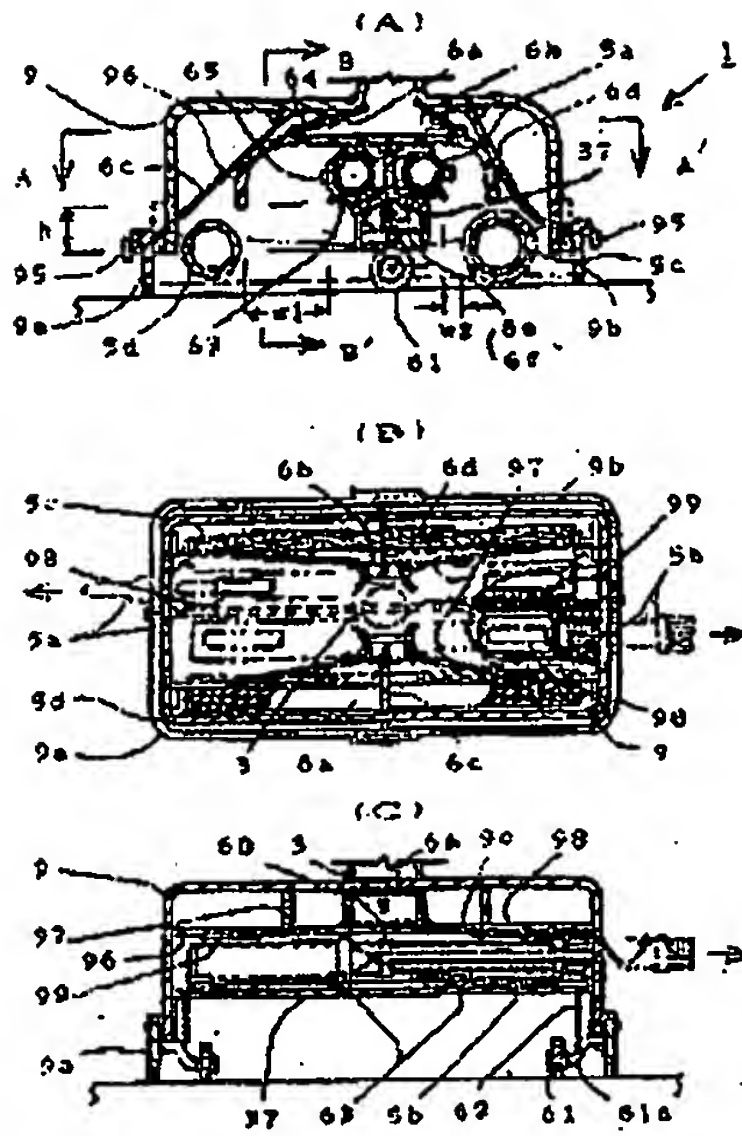
【図3】



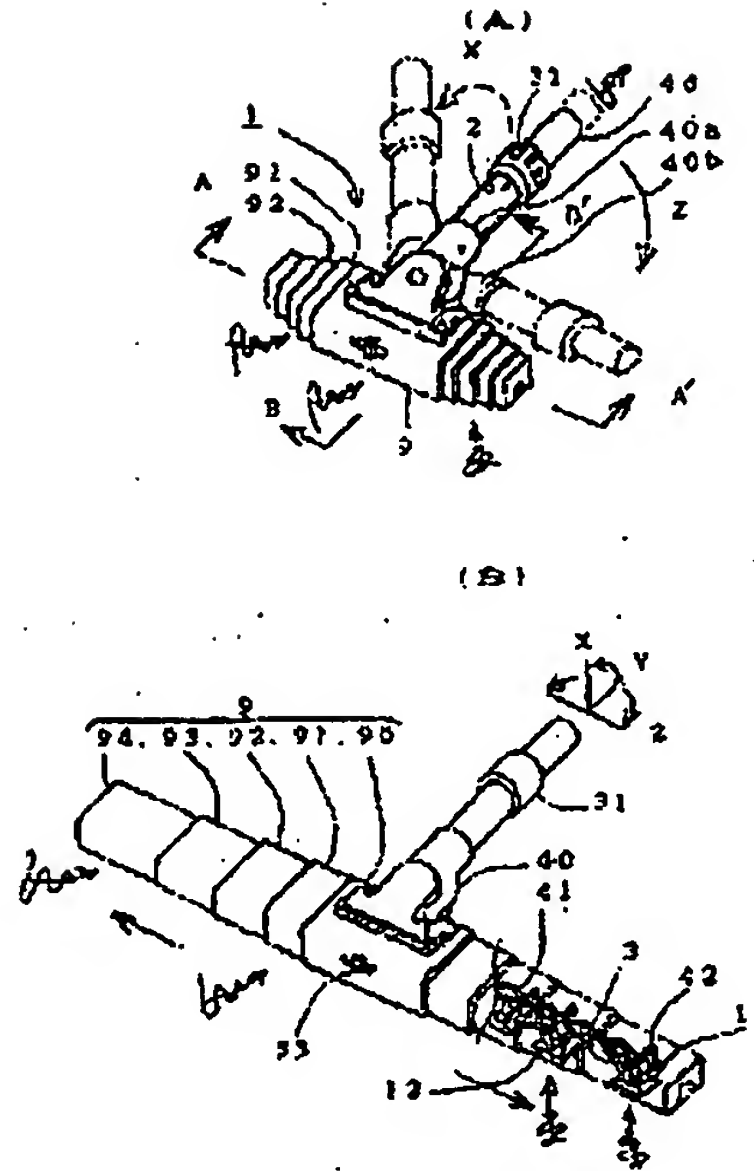
【図5】



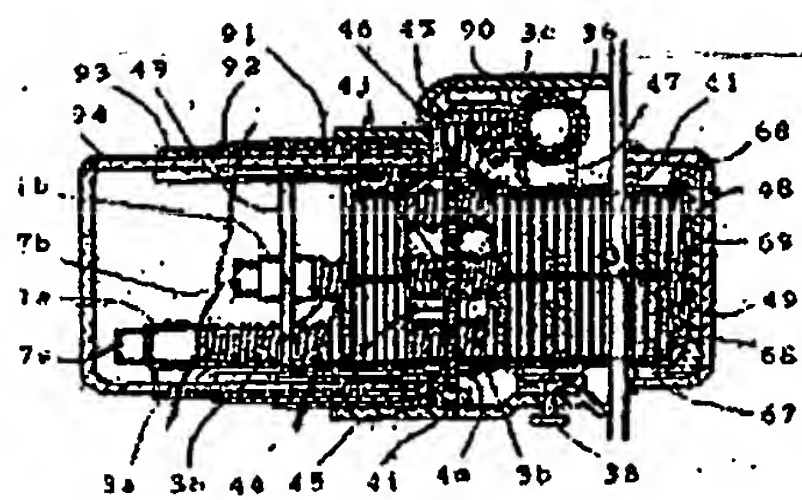
【図6】



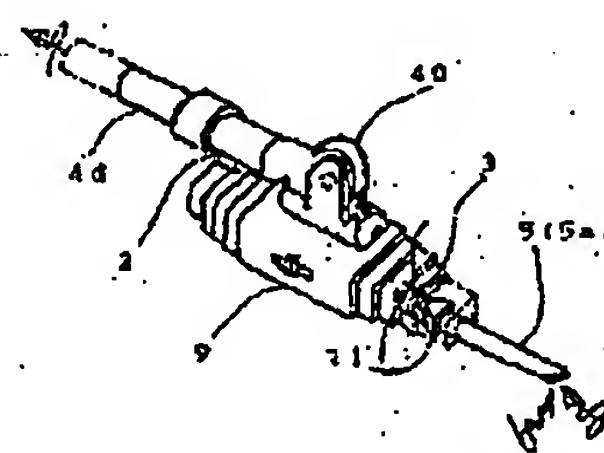
【図7】



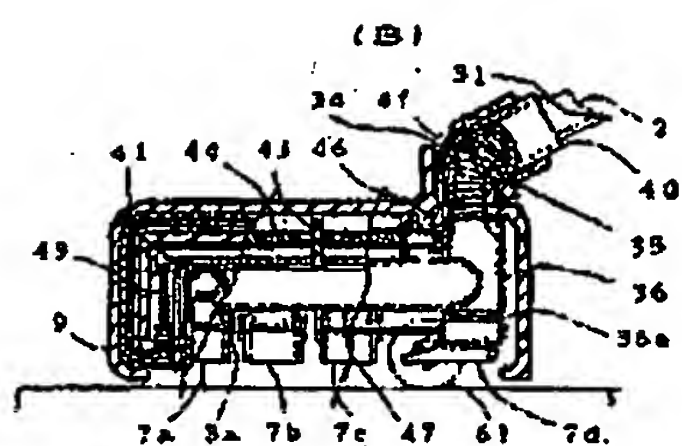
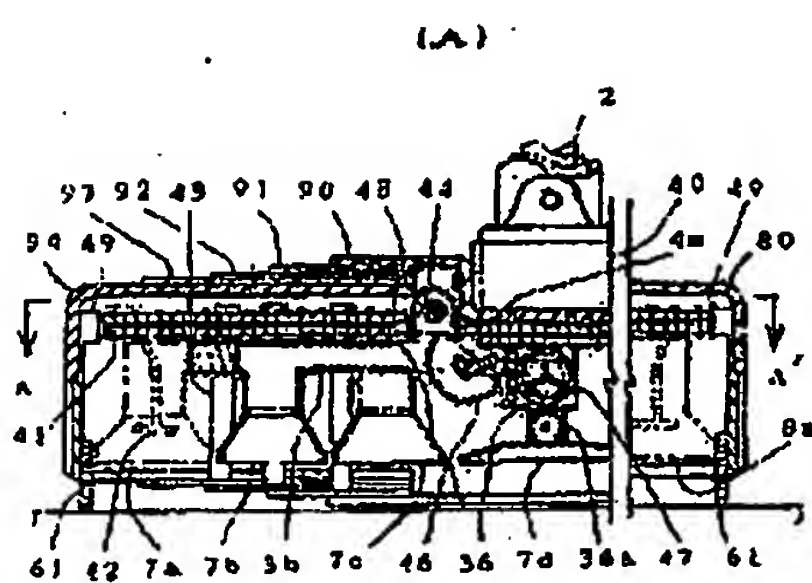
【図9】



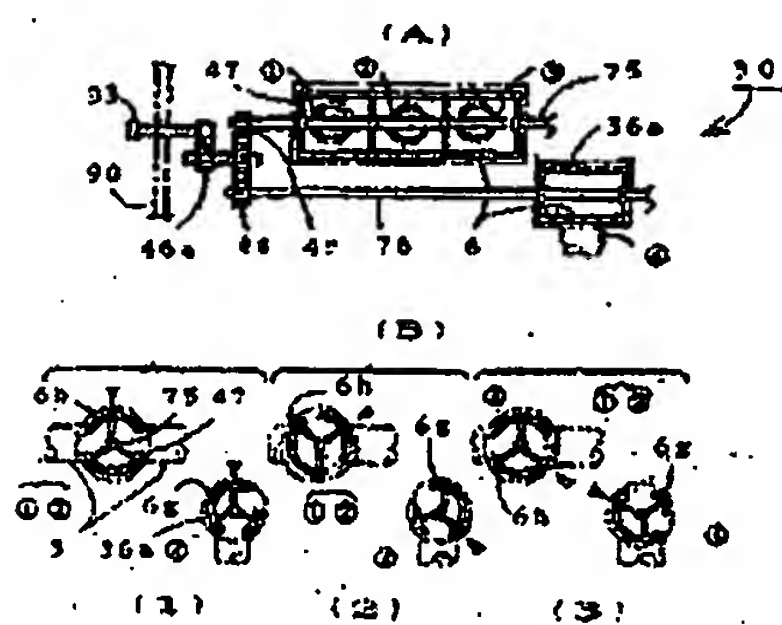
【図10】



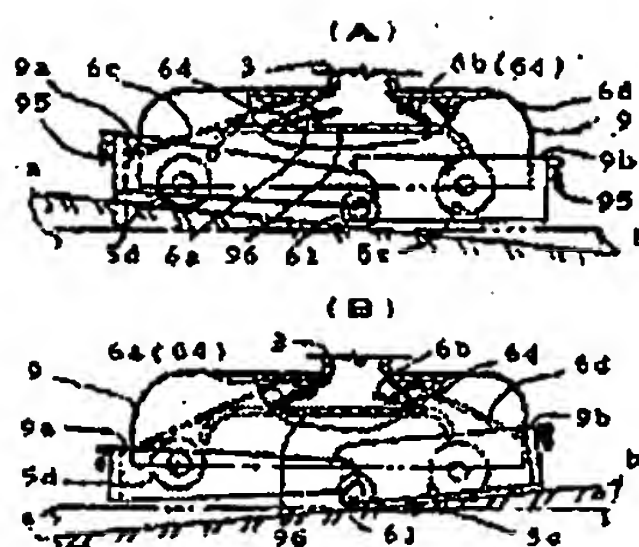
【図8】



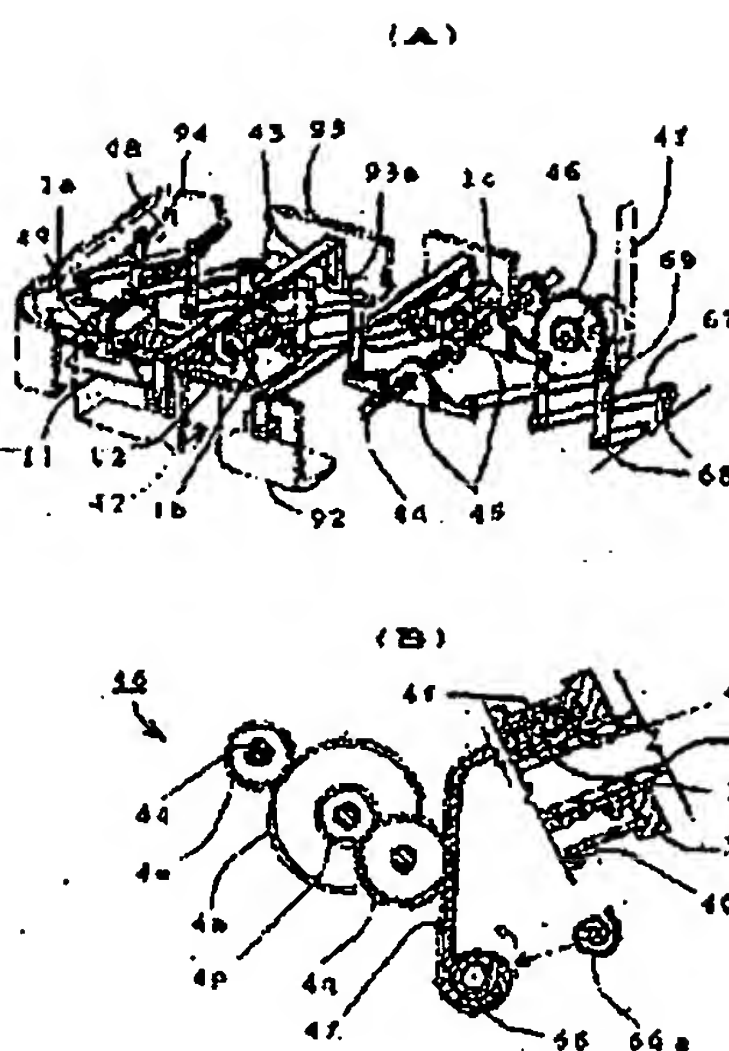
【図12】



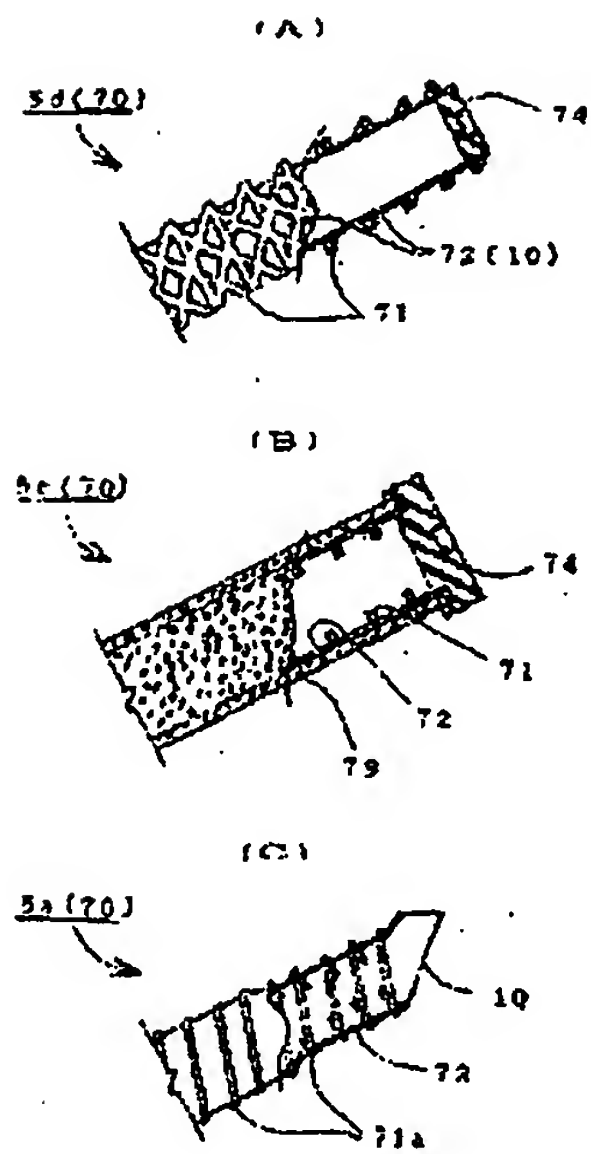
【図11】



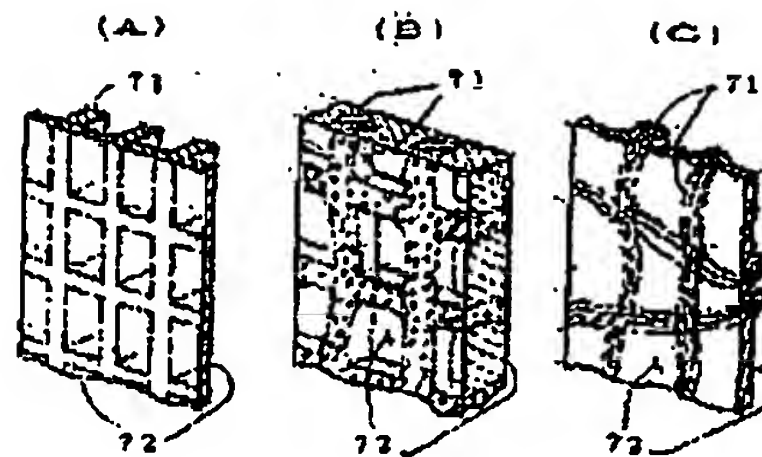
【図13】



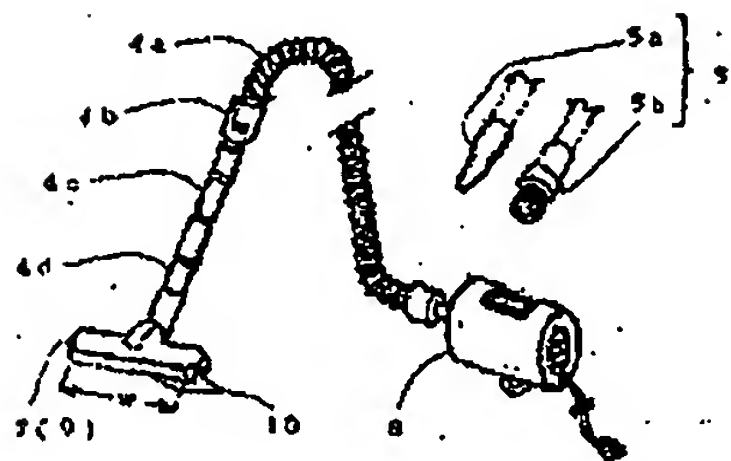
【図14】



【図15】



【図16】



*** NOTICES ***

Japan Patent Office is not responsible for any damages caused by the use of this translation.

1. This document has been translated by computer. So the translation may not reflect the original precisely.
2. **** shows the word which can not be translated.
3. In the drawings, any words are not translated.

CLAIMS

[Claim(s)]

[Claim 1] After being the approach of intake segmentation cleaning in the vacuum cleaner which classifies an intake side and attracts dust etc. and classifying opening (10) of the suction nozzle for floors (1) into two or more partitions (1a, 1b, --) this every partition -- or, after forming the intake partition zone (21, 22, --) which carried out grouping and which is open for free passage to an intake pipe (2) for this every partition group and constituting alternatively this suction passage of each intake partition zone possible [closing motion] So that said partition may be made to isolate or approach, enlarging-or-contracting actuation of the cleaned field (a-a') may be carried out and it may be adapted to this actuation It divides and arranges in two or more blocks (90, 91, --) by which mutual assemblies and forms casing (9) of a suction nozzle (1) in multistory. Expansion actuation of a congener intake function is enabled for a partition (a [1], b [1], --) effective area. Or incorporate and equip the fixed position of two or more intake partition zones (21, 22, --) with one or more cleaning auxiliary implements (5) which equip in a suction nozzle (1) and enable scratch or suction of a cleaned field, and carry out possible [of the selection actuation of a different-species intake function]. The approach of intake segmentation cleaning in the vacuum cleaner characterized by constituting two functional actuation to the terminal of the aforementioned intake partition zone alternatively.

[Claim 2] The body equipped with the source of suction, and the hand pipe equipped with the switch section which pipes a body through a connection hose and enables electric actuation, The suction nozzle for floors which pipes a hand pipe removable through an intake pipe is arranged. Are intake segmentation cleaning equipment which classifies and attracts the dust of a cleaned field etc., and opening (10) of a suction nozzle (1) is turned a partition-izing or branching, and individual exception alternatively. Partition opening (11, 12, --) classified into plurality, and these partition openings of each according to an individual or after forming the closing motion valve (6a, 6b) or breaker style (30) of a suction passage which carried out grouping In divideized partition opening (11, 12, --) To partition opening (11, 12, --) which equipped with the cleaning auxiliary implement (5) removable, or turned the branching and individual exception An intake pipe (2) is piped through the communicating tube (3) with a deformable configuration. It constitutes with an operational actuation device (4). casing (9) of the suction nozzle which carried out rate blocking of this adjoining partition opening contiguity or whose isolation each enables mutually for two or more minutes -- adapting oneself -- deformation -- Intake segmentation cleaning equipment in the vacuum cleaner characterized by constituting so that the attachment tilt angle which this intake pipe and said suction nozzle connect suitably may be changed and cleaning actuation can be performed.

[Claim 3] It is a suction nozzle in the segmented vacuum cleaner which forms the intake partition zone which turned two or more individual exception to which opening of the suction nozzle for floors divides to plurality the cleaned field carried out for the time being, and attracts dust etc. [which can connect a suction passage to one or more opening terminals of the intake partition zone (21, 22, --) whose closing motion was enabled] The cleaning auxiliary implement (5) with which the principal part containing the rotation roller (5a) and/or crevice tool (6a) which attach scratch material or mesh opening material to an outside surface, and a brush nozzle (6b) consists of an almost tubed variant nozzle (6) is formed. The suction nozzle in the vacuum cleaner characterized by for this cleaning auxiliary implement equipping the aforementioned intake partition zone terminal with at